



NPO 金沢杜の里 NEWS

2018.11 No.30



若松町 せせらぎ公園



忘れられない彩りの道

金沢市立杜の里小学校
校長 山田 菊代

私は四月にこの学校に赴任して、周辺の自然環境にとっても驚きました。子ども達が通う通路や、校門前まで緑で溢れ、沢山の樹木や美しい花々に囲まれていたからです。色とりどりのチューリップやパンジーが子ども達を賑やかに迎えてくれます。そして、その花達が終わると、いつの間にか次の花々に植え替えられていました。「なんて、素敵なお環境だろう。」「ピンクや黄色、優しい色に癒やされる。」と感じました。移りゆく季節が、植え替えられた花によって感じられる杜の里小の子達は本当に幸せだなと思いました。

ある朝、小さな体に大きなランドセルをしょって、小走りに駆け寄ってくる一年生の児童がいました。「校長先生、おはようございます。」と言って、ぱつと広げた紅葉（もみじ）のような手のひらの上に、2cmほどのお花が一輪。「はい、プレゼント。ちぎったんじゃないよ。ちぎったらかわいそうだから、下に落ちてたの拾ったの。」と、大事そうに、私の手へ。潰れないように、そつと大切に握ってきたその手の柔らかいこと。「ありがとう。」とお礼を言っ、押し花にして、今でも手帳に挟んであります。

幼き頃、自分が母と手をつないで登校した時の、嬉しさや安心感。あの時も、色々な花々が彩り豊かに、新一年生の私達を迎えてくれました。何の苦しみや心配もせず毎日を過ごし、愛情を沢山もらって育っていたなと、今更ながら親や周囲の大人達に感謝しています。そしてまた、人の為尽くすという奉仕の精神や恵愛の精神に守られていた事を、自分が成長して初めて悟るものだなと実感しています。

杜の里小の児童達もいつか大きくなった時、学校周辺の木々や花々、ホタルの飛び交う美しい環境の事を思い出して、自分は子どもの頃、多くの人の愛情をもらって育ってきたんだなと気付いてくれると思います。

私は、子どもの時に感じた「人から愛された感情」が、やがて、自分を支える原動力になると信じています。人は、成長していく過程で、自分の身近な人達から、優しく真心をもらった経験を基に、人に尽くす事の大切さや感謝の気持ちや育んで、次の世代に引き継がれていくのではないのでしょうか。

そんな意味でも、NPO金沢杜の里の方々美しい街づくりの為に環境を整備され、子ども達の情操教育や、豊かな心の成長の一助となってくださっている事に、改めて感謝を申し上げ、今後も、子ども達の思い出のページを飾って頂きますよう、心からお願いたします。

まちづくり活動

平成30年7月～平成30年10月



杜の里児童館避難訓練(8/8)



緑地小公園除草(毎月)



民有地の草刈り(7/5)



花苗の植替え(第4回 8/26)



ホタルの飼育・観察学習会(9/14)



ベンチ塗替え(9/22)



ホタル育成・観察(9/25～11/26)



若松杜の里秋祭り(9/16)



チューリップ球根植付(10/28)

支援事業



杜の里小夏祭り(8/26)



杜の里まつり(10/8)



杜の里りんぷく(10/14)



金沢マラソン花苗配置(10/28)

ふるさと探訪

～秋の味覚“サツマイモ”の収穫です～

10月17日、若松町3丁目に地域の方から借りている畑で、杜の里児童館児童クラブ20名の児童達が、“サツマイモ”掘りをしました。

毎年、サツマイモの他に、トマト・ナス・キュウリを作っています。今年は160本のサツマイモを5月19日児童達が館長に植え方を教えてもらい、一本一本丁寧に植えたものです。

特に、今年の夏は猛暑で枯れるのを防ぐため、毎日、児童館からジョーロに水を入れて水やりしてくれました。その甲斐もあって、大きなサツマイモを掘る度に、歓声を挙げて大喜び。かなりの収穫がありました。

10月21日、田上公民館ふれあい文化祭に出店し、焼芋を買い求める人で盛況でした。また、11月10日の児童館収穫祭に、焼芋とめった汁を児童達と保護者のみなさんと美味しく食べます。

金沢市立杜の里児童館



街の声

「NEWS No.29号(30・7・1)等のご意見感想から」

☆プランターの水やり、ご苦労様です。暑い日が続きます。熱中症に気を付けてください。

☆通りの花のプランターがいつも美しく手入れされていて、ウォーキングが楽しいです。お手入れご苦労様です。地元民の誇りです。

☆このような草の根運動を根気よく継続していくのは、大変な努力だと思えます。こころより尊敬いたします。

☆6月3日の総会後の講演会は良かったです。これからも色々な方のお話しが聞けることを楽しみにしています。

☆クロスワードで、近くの道路名でしたが知りませんでした。あらためて知る事、沢山ありますね。

☆先日、北谷のホタルを見に行きました。たくさん群れをなして飛んでいて幻想的な風景でした。来年もまた行きたい。

☆全国「みどりの愛護」のつどいに於いて大臣表彰受賞おめでとうございます。さて、NPO金沢杜の里の行事の中、自然環境整備事業としてホタルの育成・観察があります。その年によってホタルが舞う時期が異なるかと思いますが、せせらぎ水路入口などに見頃を看板などでお知らせいただけると、散歩の楽しみが増えたいなあと思えます。

☆「探訪シリーズ」が楽しみです。何気なく見ていた通りや坂にも歴史があり、生活があったことを教えられ、楽しく読んでいます。

☆「わが町探訪シリーズ」が面白かったです。二俣越えの利用者が多くなり、困った津端宿などか郡奉行に訴えたなどの史実などは、なるほどと納得です。次回も楽しみにしています。

☆杜の里小学校前の道路の名前は分からないものです。このクロスワードパズルにより、道路の名前・名称を改めて認識することができます。子供に教えてあげたいものです。

☆猛暑の中、花苗の維持管理が大変なことと思います。おかげさまできれいなお花になさる元気がです。本当に皆様ありがとうございます。「わが町探訪シリーズ」毎回楽しみです。亀田先生大切に保管しています。地域に愛着が持てます。最近になり今年で12年目とありますが、以前の会報が手許にない残念です。この会が15周年になる時にでも、記念小冊子にしたいだけるとうれしです。

☆「わが町探訪シリーズ」が面白く神社や今回の鈴見橋はコピー保存しています。

☆今回のパズルは困難でしたが、ヒントがあったお陰でなんとか応募出来ました。

わが町・探訪シリーズ11 若松橋

「若松」を通過する二俣越えのオコ谷往来道が重要な街道になったのは、長享年間(1487～89)に、蓮如上の子の蓮悟が、若松に坊舎(若松本泉寺)を開いたのがきっかけでした。それまでの二俣越えは、小立野1丁目の野坂から下田上橋・俵・湯谷原経由の「戸室道」であったことから、大幅に距離が短縮されたことになります。オコ谷往来は小立野3丁目から旭町の牛坂(鶴間坂)を通り、若松橋辺りを通過しましたが、戦国時代でもあり、若松橋が架けられていた可能性は低いと思われまます。

「若松橋」が初めて記録されたのは、1820年(文政3年)の測量図ですが、ここには若松村「打掛橋▶仮橋」と記されています。その32年後の1857年(安政4年)12月の文書に、「若松村領架橋用松木渡し願」とあり、『若松村肝煎右衛門と組合頭彦市が十村役にたいし、架橋用松の木9本を、これまで同様、御留山のオコ谷から渡してほしいと願ひ出ている。』(金沢市史)と記されています。若松橋に使用する松とは書かれていませんが、伐採は厳しく禁じられていた時期の御留山の松木であることと、奇数の9本の松木であることから、一本橋の若松橋に使用した可能性は高いといえます。

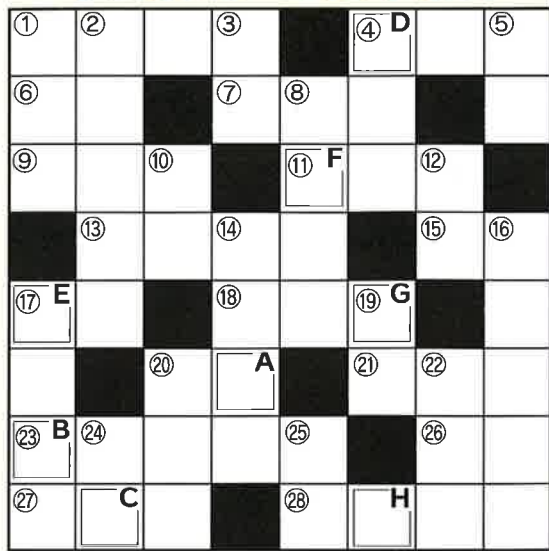
若松打掛橋・仮橋は、直径20cmほどの丸太を3本に束ね、カメラの三脚のように川原に立て、杉の大木を二つに割って三脚に渡したもので、若松橋の場合、川幅が広いので、少なくとも、杉の木を二つ束ねた一本橋だったことが想像されます。若松町の松尾三郎氏に若松橋について訊ねた際、『親から若松橋は大正時代まで、一本橋だった。若松橋の

架かる一帯が岩盤で固く、橋脚が立てられなかったから』と話されていました。なお、一本橋は大雨になればすぐ流されますが、太い縄で岸とつながれており、簡単に復旧することが可能でした。角川日本地名大辞典は、「若松橋」について次のように記しています。『浅野川に架かる橋、主要地方道金沢井波線が通過、金沢市旭町2丁目と旭町下中島を結ぶ、長さ63m、幅員4.5m。現在の橋は昭和33年3月完成。それまでの木造橋からゲルバート式コンクリート橋となった。若松橋周辺が住宅化し、交通量が増加したので、昭和47年に歩道橋が架設された。』とあります。その後、若松橋は新しくなり、昭和59年10月に竣工されたものです。

郷土歴史研究家 亀田輝之



クロスワードパズル



答

A	B	C	D
---	---	---	---

 坂と

E	F	G	H
---	---	---	---

 公園
 (ヒント) もりの里3丁目の坂と公園名

→ ヨコのカギ

- ① 滑稽なふたり組
- ④ 気を取らないで親しみやすい、さっぱりとした性格のこと
- ⑥ 物置
- ⑦ 芝居などの1つの団体
- ⑨ 国会〇〇〇
- ⑪ 親しい間から
- ⑬ 涙をだす器官
- ⑮ 小さいことを〇〇ともいう
- ⑰ 低い所
- ⑱ こうしたいと望むこと
- ㉑ 米などを多くの水で柔らかく煮た料理
- ㉒ 設計図
- ㉓ 選挙の候補者として立つこと
- ㉔ やだいぐるま
- ㉕ 来世
- ㉖ 魚等を昆布で巻いて煮た食品

↓ タテのカギ

- ① しだれ〇〇〇
- ② インドネシア共和国の首都
- ③ インドシナ半島の中部にある王国
- ④ 何か起こりそうな様子
- ⑤ 地下にあるもの
- ⑧ うっかりして間違えること
- ⑩ 上等であること
- ⑫ 音を聞く器官
- ⑭ その家の地位等を子孫が代々受継ぐこと
- ⑯ 日本のしぎたり
- ⑰ ソビエトの一部で、アジアの北、ウラル山脈からベーリング海までの地方
- ⑲ 輪を描いて回る水や大気の流れ
- ㉒ 〇〇〇商品
- ㉔ 〇〇を出す
- ㉕ 一両刃の剣と柄をつけた刺客のための武器

応募方法

- ◎郵便はがきに解答と住所、氏名、感想等を記入し、11月30日までに、次の所へお送りください。
- 〒920-1165 金沢市若松町3-281 NPO金沢杜の里情報公開委員会係
- ◎30号の正解者の中から抽選で15名様に粗品を12月上旬に発送します。
- ◎30号の解答は、平成31年4月発行の31号に掲載します。
- ◎29号の解答は「鈴懸坂(スズカケサカ)」でした。

お知らせコーナー

NPO金沢杜の里は、次の事業を行っています。

◎NPO金沢杜の里の事業

- ・恵まれたもりの里の環境保全を図るため、花いっぱい運動等で沿道の緑化を周辺住民共同で行っています。
- ・地域住民とのコミュニケーションの向上、地域の活性化、留学生との交流を促進するために、まちづくりイベントの支援事業を行っています。

◎受託事業

- ・緑地小公園の除草等の事業を行っています。
- ・私有地の除草、樹木の剪定等の事業を行っています。

◎地区計画の審査

- ・地域における建築申請の際、緑化推進の事前審査及び指導を行っています。

日本列島は、猛暑、台風、地震で大変な日が続きましたが、いかがでしたでしょうか。

今年も、もりの里等の街路にペコニヤの花苗を並べて、緑豊かな街づくりに努めてきました。

みなさまの暖かいご意見、感想等が緑豊かな街づくりの励みになります。お便りをお待ちしております。会員一同、地域の皆さまに喜んでいただける事業を目指し、一生懸命努めていきます。

よろしくお願いたします。(編集後記)

11月～31年3月の行事予定

◎環境保全事業

- ・花苗植付、維持管理
- ・プランター撤去

◎街づくりイベント等の支援事業

- ・杜の里児童館餅つき
- ・金沢国際交流会館文化祭

◎自然環境整備保全事業

- ・ホテルの育成、観察、放流

◎地域美化運動推進事業

- ・落葉清掃、せせらぎ水路清掃

◎お願い

- ・自然環境と景観保全に、地権者の敷地内セットバックの剪定をお願いいたします。

会員募集

NPO金沢杜の里は、どなたでも加入できます。あなた方のご加入をお待ちしております。

連絡先

特定非営利活動法人 NPO金沢杜の里
 金沢市若松町3丁目281番地
 電話/222-7730 FAX/262-0026